

1 平成29年度の動き

平成31年度入学生から学級数が1学級減ぜられるという見通しのもと、平成29年度の生徒会執行部で生徒アンケート等を行った。その際、さまざまな意見が出されたが、一旦、管理職預かりとした。

2 平成30年度の動き

平成30年度に部活動再編検討委員会（以下、検討委員会）を立ち上げ、再編計画に着手した。1学級減で職員は、2名程度減ぜられるだろうという見通しのもと（3ケ年で6名程度の減）、3～4の部を削減する方向で動きはじめた。また、これまでの生徒、職員の意見をもとに検討を進めることとした。

7月 各部顧問から、現在の活動状況等に関してヒアリングを実施。

～8月 その後、検討委員会で原案を作成。

8月 部顧問会議を開催し、試案として提示した上で、各部顧問から意見を募った。

～9月 その際、現在の1・2年の部員数と中学生が加入している運動部の部員数をまとめた資料を提示し、今後の部加入生徒数の見通しも考慮することとした。

9月下旬 検討委員会の原案を全校生徒に提示した。その後、生徒会執行部が中心となって、原案に対する意見の集約を行った。並行して、削減対象となった部の生徒からの要望によって、管理職が当該部へのヒアリングを行った。

10月上旬 生徒総会にて、生徒会が集めた意見および当該部の生徒から存続に向けた意見発表があった。また、要望・意見書においては、当該部を残すべきであるといった意見や、生徒数の減が学級減へつながっているのが致し方ないのではないかなど、多くの意見が寄せられた。

11月上旬 これまでの意見を参考に、再度、検討委員会で検討することにした。その後、全職員で検討し最終決定した。結論としては、**平成31年度より、柔道部女子と英語部を募集停止することとした。**なお、**募集停止の対象となった部に加入している在校生については、卒業まで活動を認める**ものである。

12月下旬 終業式において、副校長から部活動再編について、最終決定として全校生徒に伝えた。

3 まとめ

削減対象の部を決定するにあたっては、職員一同、様々な思いをもって決断に至った。これまで、生徒の自己実現の一つとして位置づけてきた部を削減するというのは、学校側、とりわけ、日々活動を眼前にしている部顧問は断腸の思いであったことは筆舌に尽くしがたいものがある。しかしながら、3ケ年で120名余の生徒が、そして6名程度の職員が減少するという現実を冷静に受け止めた上で、苦渋の決断をしたものである。

今後、中学生の部活動の加入状況や本校生徒の加入状況等から、引き続き部活動再編について考えていく予定である。